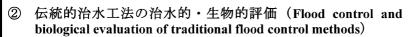
氏名 田中 亘	役職 助教	専門分野 河川工学・生態学
Tanaka Wataru	Assistant professor	River Enginnering, Biology

1. 主な研究概要

① 河川合流点における地形の成因と生物多様性の関係解明(Elucidation of the relationship between topographical origin and biodiversity at river confluence)

河川の合流点における河床地形の形成要因を合流角度や支川流量などから予測します。また合流点の生物多様性と河床地形の関係を明らかにし、合流条件と生物多様性ポテンシャルの関係を解明します。

Predict the formation factors of the riverbed topography at the river junction such as merge angle and tributary flow rate. The relationship between the biodiversity, the riverbed topography, and the biodiversity potential will be elucidated.



近代的な工学技術が伝播する以前に行われてきた伝統的な治水 工法は、想定を超える外力に対して粘り強く治水効果を発揮し、近年急増する激甚災害に対して も効果を期待されています。これらの治水効果の評価と生物多様性への影響の解明を進めていま す

he traditional flood control methods that were carried out before the spread of modern engineering technology persistently exerted flood control effects against external forces exceeding expectations, and are expected to be effective against severe disasters that have increased rapidly in recent years. We are evaluating these flood control effects and elucidating the impact on biodiversity.

③ 三面コンクリート河川や岩盤床河川の小さな自然再生(Habitat regeneration of fixed river covered with concrete)

長崎市に典型的な三面コンクリート河川や岩盤床の河川における小さな自然再生手法を開発しています。水理学的に河床への土砂の堆積をさせる水生の導入とともに、ヨシなどの植生による土砂のトラップを利用して自然再生する技術を研究しています。

2. キーワード

和文:洪水撹乱、生物多様性、自然再生 英文:flood disturbance, biodiversity, restoration

3. 特色・研究成果・今後の展望

共同研究として、

- ・三面コンクリート河川や岩盤床河川の小さな自然再生
- ・氾濫原と海の物質循環の解明

などに取り組んでいます.

researchmap: https://researchmap.jp/susuma

研究室 HP: http://www.cee.nagasaki-u.ac.jp/~suiken/

4. 社会実装への展望・企業へのメッセージ

水理解析、自然再生の計画、防災・環境教育などなんでもお声がけください。